

平成31年4月7日執行
川崎市議会議員選挙
午後8時まで投票できます

多摩区選挙区(定数9人)選挙公報

川崎市選挙管理委員会

見る。聴く。動く。

行財政改革を更に推進

川崎市の人口千人当たりの職員数は12.78人(政令市平均12.55人)。市民一人当たりの人件費負担は約6万2千円(横浜市は約5万3千円)と比較すると更なる効率化が必要。また、人材育成による効率的、効果的で持続可能な行政体制の構築。

子どもの命を守る・児童生徒の安全を確保

川崎市と警察による学校警察連携に係る協定の締結が実現。市内小・中学校と各警察署との連携を強化。常勤弁護士配置など児童相談所の機能を強化。

超高齢社会への対応と子育て支援の充実

2020年には高齢者人口が32万人、高齢化率は21%。(市民5人に1人が高齢者)医療、介護人材不足への取組み強化。認知症・介護予防の取組み推進。
ハッピーファミリー健診(妊婦並びにそのパートナー対象歯科健診)を更に推進し、健康増進の取組を充実。

災害対策の強化・大規模災害時の救助実施市の指定へ

県からの権限移譲(仮設住宅の設置など)により救助実施主体としての体制の整備。
避難所となる学校施設へのLPガスの常設や防災備蓄倉庫の充実、体育館への空調設備導入など避難所機能の強化。マンホールトイレの整備を推進。

救急車の利用を効率かつ効果的に

川崎市の平成30年中の救急車出動件数は約7万3千件。(約7分13秒で1回出動)。引き続きの適正利用の強化とAIを活用した救急体制の研究。

北部地域の基盤整備の促進

JR南武線の橋上駅舎化、小田急線の複々線化を推進。登戸土地区画整理事業の促進と世田谷町田線など必要な都市計画道路整備の着実な推進。交通渋滞の緩和と南武線や小田急線の車内混雑率の緩和。向ヶ丘遊園跡地の整備による生田緑地の魅力UP・全国都市緑化フェア誘致の取組を推進。

応援します

衆議院議員 田中 和徳
元川崎市議会議員 伊藤 ひろし

プロフィール

昭和49年 川崎生まれ
県立新城高等学校・中央大学卒
衆議院議員秘書
川崎市議会議員3期



自由民主党

橋本まさむと
(勝) 44才

輝く未来を、子供たちに



14年間の議会質問項目
204提案→199実現
達成率97%

ひとりひとりに
よりそう市政

1. いのちを守る。

- 1-1 その時、命を守る災害対策 ◀ 一級建築士の視点
多摩区の災害は水没エリアと土砂崩れエリアの2つに分かれ、水没する避難所もあります。それぞれの特性に応じた避難場所と避難ルートの確保。地震時にまず逃げ込む「一部屋シェルター」の政策的導入。
- 1-2 家族に寄り添う医療と介護 ◀ 在宅介護の体験者の視点
現場のサポート体制の強化を痛感。本人も家族も潤えない医療・介護の最善化を目指します。元気で長生きを支援する「介護予防モデル事業」を実績のある多摩区から、多職種連携の「チームたま」を応援し介護離職ゼロへ。

2. 子どもを育てる。

- 2-1 かわさき版子育てモデル ◀ 2子の母、2児の祖母の視点
量から質へ。良質な保育・幼児教育を評価。子育て環境の質を高め、大切な命を育みます。「かわさき版子育てモデル」を確立。全ての子どもに「なりたい自分になれる」を応援!
- 2-2 犯罪・虐待・貧困から守る。
多摩区の不審者が増加。児童虐待も増加。川崎市の子どもの貧困率は7%です。学校・主要施設への防犯カメラ設置、児童虐待に対する関係機関の連携および権限の強化、人材確保と親子への多面的な支援を推進。

3. 環境を生かす。

- 3-1 水と緑と農のある暮らし ◀ 一級建築士・多摩区民の視点
登戸土地区画整理事業・向ヶ丘遊園跡地活用・生田浄水場の運動公園化など、まちづくりと地域経済活性化の好機到来です。生田緑地、多摩川、都市農業による地産の安全な食、商店会、大学など、地域の資源を支援し、ネットワークにつなげ持続可能な都市をデザインします。

4. 知恵を集める。

- 4-1 みんなと超党派の知恵で課題解決 ◀ 市議14年の視点
吉沢章子が発起人の「松下村塾」をイメージした「現場の方・専門家・超党派議員による政策勉強会」を昨年8回開催。政策を提案中です。引き続き良策の実現を目指します!



詳しくはWEBへ
<http://www.yoshizawa-akiko.jp>

プロフィール

- 多摩区生まれ
- 東生田小学校・生田中学校・百合丘高校・東京YMCAデザイン研究所建築科 卒業
- 戦歴・菊竹清訓建築設計事務所・吉沢章子建築設計事務所・川崎市議会議員4期
- 市議会 議会運営委員会委員長・政策担当 会議議長・「川崎市子どもを虐待から守る条例」プロジェクトリーダー・女性議員連盟「理環の会」会長 などを歴任
- 資格:一級建築士・宅地建物取引士 ■趣味:ママサッカー・絵を描くこと



無所属

吉沢章子
よしざわ あきこ

一級建築士

市議 4 期

多摩区生まれ 多摩区育ち

現役
保育士

小学生の居場所作りと児童虐待等の問題解決

今後問題の顕著化が予想される学童保育について、わくわくプラザ事業や寺子屋事業を含めた制度の見直しと充実化を図ります。また、子どもの貧困問題や児童虐待問題に取り組みます。

健康長寿のための地域コミュニティ作り

健康長寿のための未病に地域活動への参加が有効であることが分かっています。シニア世代の活躍の場の提供と地域コミュニティ形成のための活動を行います。

小田急線踏切問題の解消

小田急線の踏切と津久井道(世田谷通り)の渋滞問題に対して川崎行政、小田急電鉄さんに働きかけ一刻も早い解決に向けた道筋をみなさまにお伝えできるようにします。

- プロフィール
- ◆出身:川崎市多摩区南生田 ◆自宅:川崎市多摩区長沢
 - ◆昭和45年5月24日生(48歳) ◆血液型:A 型
 - ◆家族:妻・息子2人 ◆長沢お囃子保存会会員
 - ・川崎市立南生田小学校卒業
 - ・川崎市立南生田中学校卒業
 - ・日本大学櫻丘高等学校卒業
 - ・日本大学文理学部社会学科卒業(日本大学アメリカンフットボール フェニックス)
 - ・UFJ 銀行(現三菱UFJ 銀行)に11年間勤務
 - ・えみのき保育園副園長

わがふるさと多摩区と子どもたちのために
誠実に全力を尽くします!

私は、かがみまさひこさんを応援します!

- 衆議院議員 中山のりひろ ○参議院議員 三原じゅん子
- 参議院議員 島村 大



自民党公認

かがみまさひこ

震災ボランティアが議員活動の原点です

- 避難所となる小・中学校の水道管を耐震化。
また、避難所への「開設スターターキット」とテレビの配置を実現。さらに災害備蓄品に「液体ミルク」の導入を提案しました。
- 多摩川サイクリングコースの延伸整備を実現。
災害時は避難通路として活用できます。
- 向ヶ丘遊園跡地計画及び生田浄水場用地に、災害時の「応急給水拠点」や「マンホールトイレ」の設置を提案しました。

誰もが健康で輝ける 川崎市の実現へ

- 公明党が誘致に尽力した新百合ヶ丘総合病院においては、がん医療が拡充します。また、がん相談窓口の増設等を実現しました。さらに市立看護大学の4年制化を実現します。
- 認知症対策のため、相談を受ける医療センターや専門病院を拡充。加齢による心身の虚弱・介護予防への取り組みとなる「フレイル対策」も進めます。
- 中学3年までの入院医療費助成の所得制限を撤廃。すでに実現した小学6年までの通院医療費助成を、中学3年まで拡充します。

ペットは大切な家族。動物愛護の輪を広げます

- 新・動物愛護センターの立ち上げに尽力し、動物愛護基金やネーミングライツ等の導入を実現。わが家にもセンターから引き取った2匹の保護ネコがいます。
- 動物の命の大切さを学ぶ愛護教育や、保護イヌ・ネコの譲渡体制を拡充します。
- 災害時におけるペットとの同行避難体制を整備します。また、飼い主のための防災手帳を配布します。



幼児教育・保育の無償化を実現 本年10月から!

河野ゆかりのプロフィール

- 兵庫県市島町(現丹波市)生まれ ●福知山市医師会看護高等専修学校卒業、准看護師 ●阪神淡路大震災ではボランティアとして救援活動を経験 ●2011年、川崎市議会議員初当選(現在2期目) ●公明党多摩第1支部長 ●家族:夫、3女、保護ネコ2匹



公明党公認

河野ゆかり

平成31年4月7日執行
川崎市議会議員選挙
午後8時まで投票できます

多摩区選挙区(定数9人)選挙公報

川崎市選挙管理委員会

不要不急の大規模事業2150億円やめ
国保料の引き下げなど
いのちと福祉を守る市政へ

市のためこみ金1000億円で

- 中学卒業まで医療費無料化
- 認可保育園の増設で待機児童解消
- 幼稚園入園料補助創設
- 特別養護老人ホーム増設
- 介護保険料の減額を
- 住宅リフォーム助成制度創設
- 正規雇用の拡充、最低賃金時給1500円へ
- 木造住宅耐震化補助の拡充

地域要求実現のために **全力**

- 災害時に市民に飲み水を配る
生田浄水場の復活を
- 交通不便地域にコミュニティバスを

プロフィール

1961年長野県生まれ。長野県立諏訪二葉高校卒業、愛知県立大学外国語学部にて学ぶ。党国会議員秘書8年。市議4期。現在、市議会環境委員会副委員長。都市計画審議会委員。民生委員3期。家族は夫と1女。菅稲田堤在住。

井口まみ 検索

安倍政治 ストップ 消費税10%中止!
憲法9条改憲ノー!



井口まみ

いぐち真美
日本共産党

政治は「無関心ではいられても、
無関係ではられない」

政治は「自分とは関係がない」そう感じる方も少なくないと思います。ただ、皆さんが毎日使っている水や、家から出るゴミ、いつも使っている病院や学校、道路など、「生活」の多くが深く関係しています。「無関心ではいられても、無関係ではられない」のが政治です。だからこそ「誰かがやっても同じ…」ではありません。

「選択を変える。地域が変わる。」国内外約20年の知見を多摩区へ

安心・安全な多摩区へ5つの柱

- ① 自然災害対策の強化 ~災害に強く安心・安全なまちづくり~
・ 交通や建物の耐震化や不燃化など密集市街地の被害軽減へ
・ 隣接自治体との連携強化や都市計画等による減災対策の推進
・ 安全な避難所の整備や帰宅困難者対策等の推進
- ② 子育ての悩みや不安解消へ支援の拡充
・ 子育てに関する課題やニーズの把握と的確な情報提供の推進
・ 子育て支援団体など多様な関係機関の連携強化
・ 地域が一体となった子育て環境づくりの推進
- ③ 高齢化対策の推進 ~健やかに安心して暮らせるまちづくり~
・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた多様な主体の連携促進
・ 人口減少や高齢化が進む地域で空き家等の利活用など、多世代で支え合う地域や地域間交流の活性化を支援
- ④ 交通環境の整備 ~誰もが安心・安全・快適に~
・ 登戸土地区画整理事業の着実な推進と連携の促進
・ 特性に応じた橋上駅舎化推進、鉄道による地域分断の改善
・ 踏切横断時の安全性、駅へのアクセスや利便性の向上へ
・ 高齢化や地形に応じた交通環境の整備と生活利便性の向上
- ⑤ 域連携 ~地域づくりへ区内3大学の資源活用~
・ 地域課題解決に向けた市民主体の参加型事業の支援
・ 魅力ある施設や都市農業等の地域資源を生かしたまちづくり

私も全力で応援しています!
神奈川県議会議員 青山圭一



岡部ゆうぞうプロフィール 岡部 ゆうぞう (1978年6月生まれ)

関東学院中・高 卒業/日本大学農獣医学部卒業/立教大学大学院修了
○ 大学ではアジアの発展途上国 15カ国にて国際協力について学ぶ
○ 卒業後、組織開発を強みとする経営コンサルティング会社へ就職
○ その後 NGO で少数民族への教育や生活環境の改善の支援を行う
○ NGO 職員と並行し、大学院でコミュニティや地域づくりについて研究
○ 大学院修了後、国際協力機関にて厚労省事業の立ち上げに参加
○ 山形県で観光振興、農業支援、自治体PR等の地域活性化事業、被災地での復興支援や参議院議員公設秘書を経て多摩区で活動中



おかべ
岡部ゆうぞう
国民民主党公認
新人

川崎力を つくる

私の政策提言

医療を守る具体策!

「自己完結率」の引き上げが最大のポイント

- ▶ 医療投資(療養病床、在宅医療サービス)の拡大
- ▶ 市立看護短大を4年制大学化し、看護人材の拠点づくり
- ▶ 介護職員の給与を引き上げ、介護資格者の従事率を向上

トピック

「外国人専用医療ツーリズム病院」は国民皆保険を崩壊させ、自己完結率をも引き下げるため絶対に反対!

- 「自己完結率」…その地域(医療圏)の患者受け入れ率。これが低いほど、よその地域に回される。
- ⇒ 現在、横浜市 69.5%に対し、川崎市北部 48.8%

まちを発展させる具体策!

「駅前広場」の整備充実が最大のポイント

- ▶ 各駅の駅前広場を再整備し、駅広を中心にした街づくり
- ▶ 駅広と接道する道路整備は一体化して進める
- ▶ 駅広整備計画を策定し、見込み用地のある駅から先行整備

トピック

- ①②③の一体的整備により事業効果を最大限に発揮!
- ①小田急線の連続立体交差化(地下化)
 - ②小田急線の複々線化
 - ③世田谷通り「拡幅」
- 一石三鳥案
- 世田谷通りの下に、地下2階建てによる4線化構造
 - 向ヶ丘遊園駅から百合ヶ丘駅までの踏切を完全除去
 - 駅の地下化により、地上跡地を駅広として有効利用

行政による支出(投資)はGDPとなり
必ず税収となって還ってくる!

プロフィール
昭和46年3月23日生まれ。
大東文化大学文学部 卒業。ユアサ商事株式会社を経て、
松沢成文(当時・衆議院議員)秘書。
平成15年4月 川崎市議会議員 初当選。



推薦人
作家・経済評論家 三橋貴明
参議院議員 松沢しげふみ
衆議院議員 笠ひろふみ



三宅隆介

みやけ
りゅうすけ
無所属

自民党 公認 新人 地元



多摩区の交通インフラ整備の
遅れを取り戻す!

仕事あふれ、子育て楽しい町、
快適便利な「住みたい町」

伝統文化・地域活動が盛んで
温かみのある「住みよい町」

川崎そして多摩区をもっと誇れる町に!

上原まさひろのプロフィール

- ☆ 東京大学医学部卒
- 東大大学院修了(保健学修士)
- ☆証券アナリスト業務・事業再生業務などの企業勤務を経験
- ☆多摩区で子どもたちの学習支援・音楽教育を営む会社を経営
- ☆町会副会長・民生委員など地域活動にも全力投球!

医療

経済

教育

芸術

地域

推薦者 私たちも応援しています!
ひろた健一 川崎市議会議員・自民党川崎市多摩区幹事長
中山のりひろ 衆議院議員 島村大 参議院議員
佐藤まさひさ 参議院議員・外務副大臣
田村弘志 中野島北口商店会 会長
田口吉夫 稲田堤振興会 会長

公式HP: <https://www.uehara-masahiro.jp>
日々の活動は @masahiro0130
SNSでお知らせ @uehara_masahiro0130



うえはら
上原
まさひろ
自民党公認
40歳・新人

ずっと住みたい多摩区へ 市民が主役!のまちづくり

掴もう!新時代。
若者の声を政治に

民家園通り商店会の副会長として、多摩区最大級の夏祭り実行委員長を務めさせていただきました。食の祭典・試し酒・インバウンド対策等、人と、お店と、地域と街と向き合い続けイノベーション(革新)を起こしてきました!

政治の仕事は、
市民の生活が幸せになる仕組みを作ることです。区民の皆様との触れ合いを大切に、問題点を明確にします。問題に見合った税金を分配し、皆様が納得できる財政運営を主張します。

まず最初に議員自身が身を切ることを訴えます!

**政務活動費年間540万円の廃止。
議員報酬の30%削減。見える、開かれた、分かりやすい市政に!**

- 中小企業・商店街の活性化
- 介護・福祉、医療サービスの充実
- 中学生まで医療費無料化
- 子育て支援の強化、待機児童を解消
- 予防医療の充実、市民の健康を促進
- 防災・防犯に強い安心・安全なまちづくり
(地域の公共施設の有効活用と防犯カメラの充実)
- 南武線の整備(ホームドアの設置)

井野大輔 プロフィール

昭和46年6月27日川崎市多摩区生まれ多摩区育ち
昭和56年 川崎市立下布田小学校卒
昭和62年 川崎市立中野島中学校卒
平成2年 神奈川県立百合丘高等学校卒
現在は、21年前に飲食店を独立開業し経営中。
家族：両親、妻、五歳の息子 / 在住：南生田
URL <http://ino-daisuke.info>



無所属
いのの大輔

住んでよかったと思える
安全・安心・うるおいのある“まち”
川崎をめざす

まじめに働いている人が報われる
公平・公正なまちを!

- ・保育園に子ども2人を預けて働いた経験から
- ・同居親族の介護のために仕事をやめた経験から
- ・働いても生活が厳しい方をみてきた経験から
- ・子どもたちの豊かな教育をめざして、教壇にたった経験から

体験者として政策作成

おすすめ:

- ☆交通不便地域の交通アクセス確保
 - ☆生活道路・通学路の安全対策
 - ☆災害時の救急・救助体制の充実
 - ☆登戸地区土地区画整理事業の早期完成
 - ☆健康で心豊かな子どもたちの育成を支援
 - ☆学校施設の快適性・利便性の向上
- 詳細は...[つゆき明美](http://tsuyuki-a.com) で検索 (tsuyuki-a.com)

プロフィール・経歴

1954年生 64歳 多摩区生田在住
1977年4月～ 川崎市立小学校勤務～29年間
2006年～ 子育て支援・福祉ボランティア
・NPO法人児童健全育成会コックロ理事
・NPO法人たまふくし協力会 監事
2011年4月 川崎市議会議員(初当選)
～現在(8年間)川崎市議会みらい会派所属



立憲民主党
公認

つゆき明美

あけみ

不要不急の大規模事業2150億円やめ
国保料の引き下げなど
いのちと福祉を守る市政へ



赤石ひろ子

あかいし博子

日本共産党

- 市のためこみ金1000億円で
- 中学卒業まで医療費無料化
 - 認可保育園の増設で待機児童解消
 - 幼稚園入園料補助創設
 - 特別養護老人ホーム増設
 - 介護保険料の減額を
 - 住宅リフォーム助成制度創設
 - 正規雇用の拡充、最低賃金時給1500円へ
 - 木造住宅耐震化補助の拡充
- 地域要求実現のために **全力**
- 登戸土地区画整理事業は住民本位で
 - バス路線拡充。交通不便地域の解消
 - 小田急線地下二層・複々線化で混雑緩和を



プロフィール

1961年群馬県生まれ。群馬県立前橋女子高校、立教大学文学部日本文学科卒業。雑誌編集者32年、NHK「きょうの健康」等の編集にたずさわる。中野島の太鼓クラブで14年間活動。家族は1男、東生田在住。

[赤石ひろ子](#) 検索

安倍政治 ストップ 消費税10%中止!
憲法9条改憲ノー!